

アレルギー



Japanese Journal of Allergology

第18回日本アレルギー学会春季臨床大会号

期 日 2006年5月30日(火), 31日(水), 6月1日(木)

会 場 京王プラザホテル

会 長 聖マリアンナ医科大学内科 中川武正

Vol. 55

No. 3・4

2006年 4月

社団法人 日本アレルギー学会

P187 小児気管支喘息患者における調湿木炭の効果の検討

竹谷 健¹⁾ 葛西武司¹⁾ 根宜由実²⁾ 中村守彦³⁾

堀江修二³⁾ 山口清次¹⁾

(島根大学 医学部 小児科¹⁾ 公立雲南総合病院 小児科²⁾ 島根大学 産学連携センター³⁾)

【はじめに】多くの小児気管支喘息患者はダニアレルギーを有しているため、ダニ成育の阻害が気管支喘息の予防に重要と考えられている。われわれは新たに開発された調湿木炭を小児気管支喘息患者の自宅に敷設し、その効果を検討した。【対象および方法】対象は3～10歳の小児気管支喘息患者7名。調湿木炭を患者の自宅の床下や天井に敷設し、症状、呼吸機能、血液検査の推移を検討した。【結果】木炭敷設6か月後のアンケート調査によると、1例を除き咳・喘鳴の減少、学校を休む回数の減少が認められた。気管支喘息の重症度の改善は認められなかったが、治療点数は減少する傾向がみられた。呼吸機能に関して、5例中4例でPEFの改善が認められた。血液検査では、好酸球、IgE、ハウスダスト・ダニ特異IgEに対する効果はなかった。しかし、カンジダ・アスペルギルス特異IgEの低下がみられた。2例のみに陽性がみられたペニシリウム・クラドスポリウム・アルテリア特異IgEは、どれも低下した。これらの改善は木炭敷設6か月前後でみられた。【考察】調湿木炭は小児気管支喘息患者において有効に機能する可能性が示唆された。(本研究は出雲土建株式会社との産学共同研究で行った。)